



西中学校評価だより

UNESCO・西中
自立、共生、貢献
2021・10・31

「見附市共通アンケート」「学校独自アンケート」や「CRT検査（標準学力検査）」の結果をもとに、西中学校の前期教育活動についてお知らせします。

※今回の学校評価の判定基準を、「見附市共通アンケート」「学校独自アンケート」での肯定的評価が85%以上を「A」、70%以下を「C」として見ていきます。

知 <確かな学力の向上>



1. 学力テストの結果

年度当初の4月に実施したCRT（標準学力検査）の結果
※標準スコアとして、全国の標準正答率50で表します。

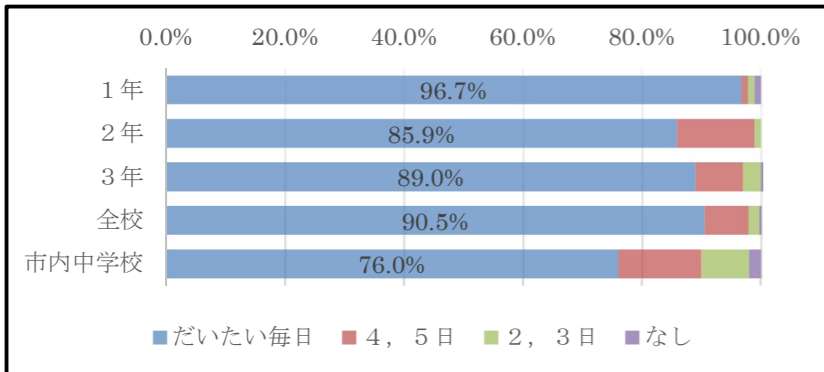
	国語	社会	数学	理科	英語
1学年	52.2	50.4	52.2	49.2	50.2
2学年	50.6	49.8	48.3	52.1	52.0
3学年	54.1	52.4	52.6	53.3	52.8

おおむね各教科とも全国標準正答率と同じか、上回る結果でした。3年生で実施された全国学力・学習状況調査でも県平均・全国平均を大きく上回る結果となりました。特に「書く能力」が高い結果でした。

2. 学習への取組

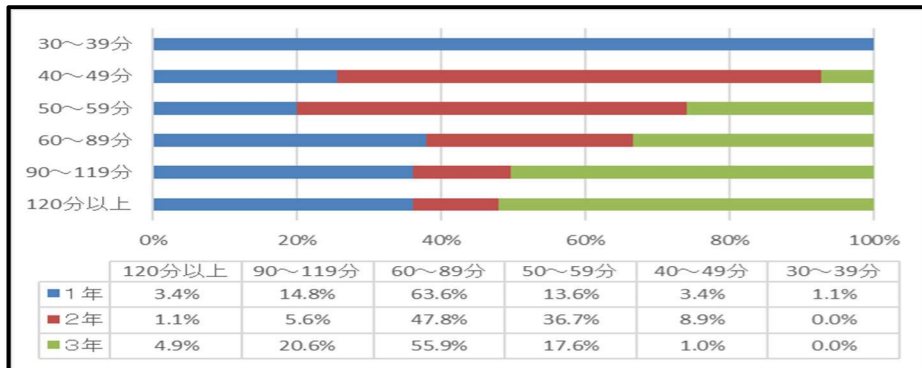
(1)「自ら学ぶ意欲・態度の育成と定着（家庭学習習慣の定着）」の取組について

①【家庭学習の日数】一週間に何日くらい家庭学習をしていますか。（宿題、学習塾を含む）



評価：A (97.9%)
肯定的評価（4, 5日以上）は全校で約98%にもなります。見附市内中学校の平均値と比べても高く、毎日の自主学習での取組の成果が見られます。また、予習的な学習に取り組む割合が年々増加しています。

②【家庭学習の時間】「ふだん(月曜～金曜)1日あたりどのくらい家庭学習(宿題、学習塾を含む)をしていますか。」



1日平均91.1分で、昨年度より増加しました。全体的には60~119分取り組む生徒が多いです。また、3年生では、2時間以上取り組む生徒が増えている傾向が見られます。

3. 「学びの過程を工夫し、資質・能力を高める」取組について

①「学校独自アンケート」で、授業に対する学習状況を聞きました。

①「もっと学びたい」「もっとできるようになりたい」という意欲をもって、集中して授業に取り組むことができた。

国語	社会	数学	理科	英語	音楽	美術	保体	技術	家庭
93%	91%	96%	95%	95%	96%	97%	97%	96%	95%

②今学期に学んだ授業の内容を理解したり、技能を身につけたりすることができた。

国語	社会	数学	理科	英語	音楽	美術	保体	技術	家庭
93%	88%	93%	91%	94%	97%	95%	94%	96%	93%

③ノートの取り方を工夫したり、話し合い活動に積極的に取り組んだりすることで、新しい気づきを得たり、より理解を深めたりすることができた。

国語	社会	数学	理科	英語	音楽	美術	保体	技術	家庭
92%	90%	94%	91%	95%	92%	95%	96%	94%	97%

評価：A
どの教科でも高い意欲と向上心をもって授業に取り組んでいることがわかります。また、互いに意見を発表したり、まとめたりする学習活動が内容理解や技能習得につながっていることがわかります。今後も指導方法の工夫に努め、「主体的・対話的で深い学び」を展開します。

【知について】

☆学びの過程を工夫し、活用力・応用力の向上に努めます。

ファシリテーションスキルの手法を取り入れ、主体的・対話的で深い学びを意識した授業改善を推進してきました。これにより各種学力診断の結果が向上しました。特に、苦手としていた記述式の問題の正答率が上がっています。また、この「分かる・できる」喜びが学ぶ意欲も高めました。今後は学力診断やテストに加え、GIGA スクール事業も積極的に活用することで生徒の実態把握と分析を行い、さらなる改善に努めます。

☆基礎的・基本的内容の定着と家庭学習の習慣化に努めます。

重点内容の繰り返し学習や定期的な小テスト、自主学習の取組を奨励し、目標をもって家庭学習に臨めるよう指導してきました。保護者アンケートの「お子さんは、家庭学習に取り組んでいますか」の項目で「取り組んでいる」という肯定的回答が80%を超えています。今後も御家庭との連携を図り、家庭学習の習慣化に努めます。

徳 <豊かな心の育成>

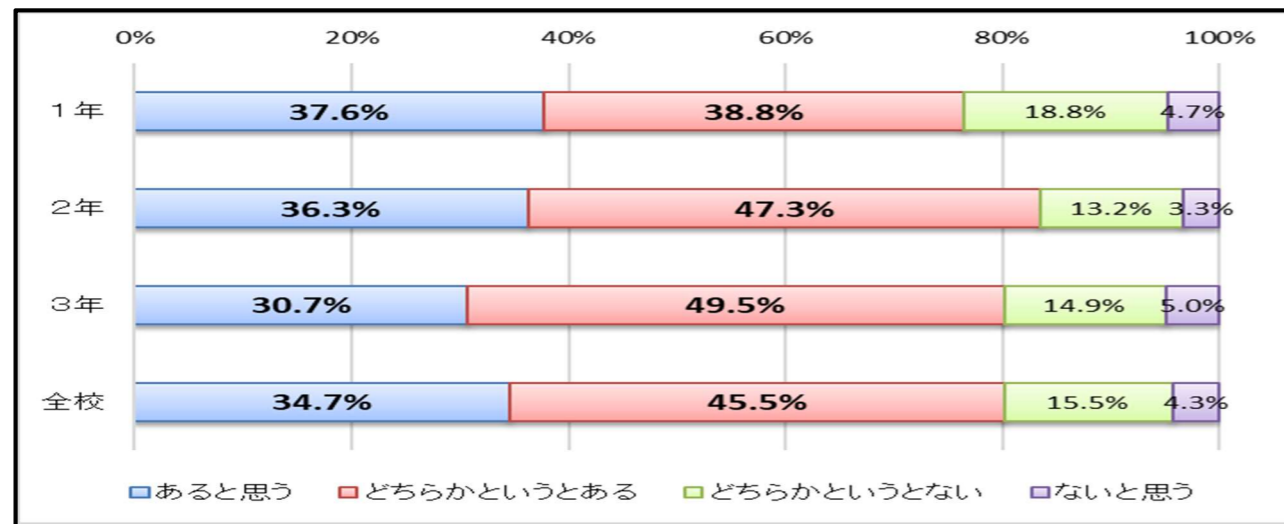


1. 「自立心・自律心の涵養による社会性の育成」の取組について

質問 ※見附市共通アンケートより	回答	評価
①【学校でのあいさつ】学校で友達や先生、お客さんにあいさつしている。	96%	A
②【地域へあいさつ】地域の人にあいさつをしている。	93%	A
③災害時に地域のために自分のできることをボランティアとして行いたい。	95%	A
④人の役に立つ人間になりたいと思っている。	96%	A

昨年度は地域へのあいさつが低い結果でしたが、大きく向上しました。生徒会を中心としたあいさつ運動が展開され、来校者からの評価も高いです。

2. 『自己存在感』『自己肯定感』がもてるよう一人一人の良さを生かし認める」取組について
【自己の肯定感】 自分には良いところがあると思いますか。



評価：B（80%）

今年度も昨年度と同じ80%の生徒が「ある」と回答しました。市内中学校の平均よりも高い結果ですが、1年生では20%を超える生徒が「ない」と回答しています。コロナ禍で制限はありますが、学校行事、生徒会活動を工夫し、保護者や地域の方々からも協力を得ながら、生徒にとって達成感や成就感を得ることのできる活動を展開します。

【徳について】

☆豊かな心の育成に努めます。

生徒アンケートでは「自分の学校のことを好き」という項目において92.2%の生徒が、「学級みんなできやり遂げ、うれしかったことがある」という項目において94.5%の生徒が肯定的な回答をしています。この結果から、あいさつ運動のように生徒主体で集団生活を向上させる活動をさらに推進していきます。活動を通じて、「他者を思いやり、互いに認め合う」こと、「達成感をもち、自己肯定感を高める」ことにつながるよう、支援していきます。

体 <健やかな体の育成>



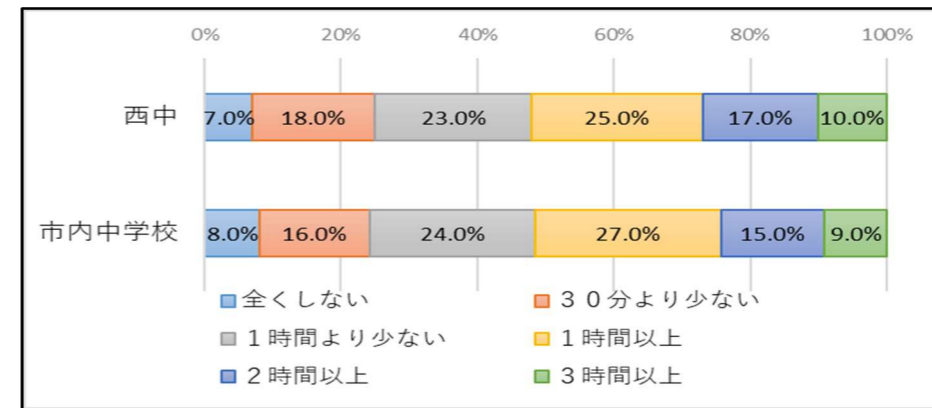
1. 「基本的な生活習慣の確立」の取組について

(1) 【就寝時間】 ふだん、何時ごろ寝ていますか。(2) 【睡眠時間】 ふだん、何時間寝ていますか。

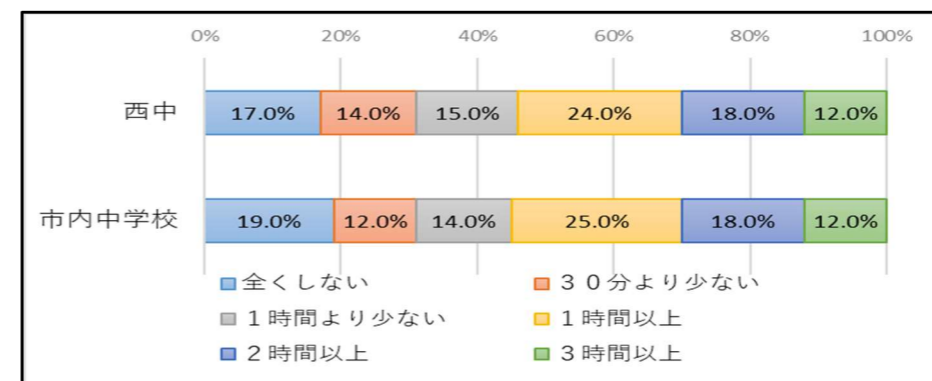


2. 「メディアコントロール」について

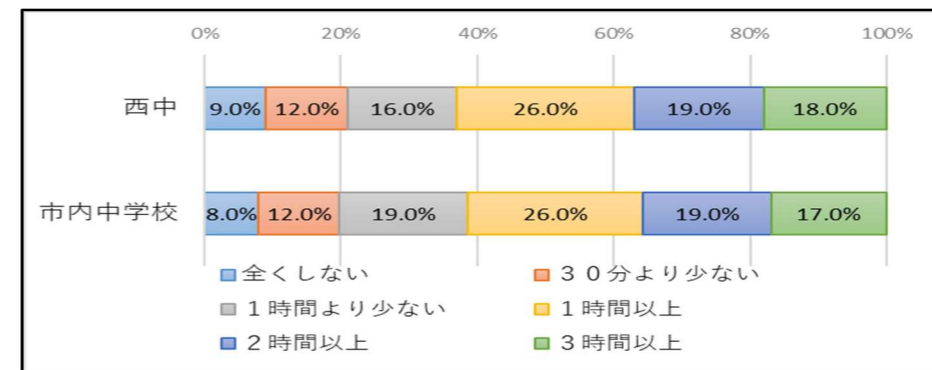
(1) 【メディア視聴時間】 ふだん（月曜～金曜）1日あたりどれくらいの時間、テレビ・ビデオ・DVDを見たり、聞いたりしますか。



(2) 【ゲーム使用時間】 ふだん（月曜～金曜）1日あたりどのくらいの時間、ゲームをしますか。



(3) 【通信機器の使用】 ふだん（月曜～金曜）1日あたりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンなどで通話やメール（ラインなども含む）、インターネット（YouTubeなども含む）をしますか。



【体について】

☆基本的生活習慣の確立と体力づくりの推進に努めます。

成長期には質の良い睡眠が大切です。保健だよりや食育指導を通して、御家庭との連携を進めていきます。また、体力の向上に取り組んでいけるよう、身体を動かす機会や場の工夫にも努めます。

☆メディアコントロールの指導に努めます。

GIGA スクール事業が進み、タブレット端末を持ち帰り使うようになると、使用時間がさらに増加します。メディア使用をコントロールできる能力の育成を、御家庭と連携して進めていきます。

【就寝時間・起床時間】

評価：B
学年関係なく「寝る時刻が遅く、睡眠時間が少ない」生徒が増えていることが分かります。メディア使用時間が増加するに伴い、就寝時刻や睡眠時間が不安定になっている傾向が見られます。

【メディアコントロール】

評価：(1)B・(2)B・(3)C
メディア等の使用時間が2時間未満を肯定的評価として考えています。

(1)視聴時間2時間未満が73%で市内中学校平均より低い結果です。

(2)使用時間2時間未満が、70%で昨年度と同じです。しかし、3時間以上が34人いて、市内で一番多い結果になっています。

(3)使用時間2時間未満が63%で、市内中学校平均とほぼ同じです。2時間以上の割合が、(1)(2)よりわずかながら多く、携帯電話などでインターネットを使用する生徒が増加していることが分かります。

また、保護者アンケートでゲーム・通信機器の使い方について「ルールを決めている」と回答したのは70%で、その内「お子さんがルールを守っている」と答えた方は64%と市内中学校平均よりも4.3%低い結果です。この項目も年々低下しています。ぜひ御家庭で使用ルールについて今一度話し合ってください。

